

こがねい 市議会だより

平成23年
第1回定例会
第228号

平成23年(2011年)
5月11日発行

発行/小金井市議会

編集/議会報編集委員会

小金井市ホームページアドレス

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号 TEL(042)387-9947(直通) FAX(042)387-1225

http://www.city.koganei.lg.jp/



3月24日岩手県北上市へ市職員2名が支援物資を搬送

平成23年度一般会計予算を可決 予算委員会で防災関連の質疑相次ぐ

東北地方太平洋沖地震により被災され、犠牲になられた多くの方々
とご遺族の皆様にも、心からお見舞いとご悔やみを申し上げます。

東日本大震災に伴い議会日程を大幅に変更

第1回定例会の概要

平成23年第1回定例会(宮崎晴光議長)は2月15日に開会し、会期を3日延長して3月25日に閉会しました。本定例会の概要は次のとおりです。

平成23年度 一般会計予算

平成23年度の一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ371億9千100万円を提案され、前年度と比べ、約10・1%減少しています。2月17日の本会議において、議長を除く全議員(23名)で構成する予算特別委員会に付託し審査しました。なお、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、当初予定していた予算特別委員会の開催日程を大幅に変更し、一般会計の当初予算及び一般会計の補正予算の質疑の時間は、日程等の関係により、総括の質疑を除いて一人おおよそ50分と定めて審査を行いました。

歳出の主な内容は、東小金井駅北口の区画整理に要する経費、多摩地域の各団体による広域支援により可燃ごみを処理していただくための経費、小中学校へのエアコン設置に要する経費などがあります。

3月25日の本会議では、市長が提案した予算案を編成し直す予算の組替え動議が、議員から提出されましたが、組替え動議を否決し、市長が提案した予算は原案のとおり可決しました。

市民交流センター に つ い て 全員協議会を開催

JR武蔵小金井駅南口に都市再生機構が建設した市民交流センターの市への引渡しが遅れている問題を受け、平成23年1月31日、3月9日及び4月8日に全員協議会を開催しました。

1月31日の全員協議会では、2月1日から都市再生機構がセンターを暫定管理することを内容とする協定書を、市と都市再生機構の間で締結したことが報告されました。協定書には、平成23年4月のセンター開設を前提として、市が選定した指定管理者と都市再生機構が契約して施設の管理運営に当たること、市がセンターを取得するまでの間、都市再生機構が管理運営の費用を負担することなどが盛り込まれています。

3月9日の全員協議会では、市が選定した指定管理者と都市再生機構が締結する予定であったセンターの管理運営に関する契約について、金額面で合意に至らず契約に至っていないことが報告されました。金額面の差が生じた原因は、都市再生機構が、管理運営の費用として、コンサートなど自主事業の費用を除いた金額を提示したことによるものです。

4月8日の全員協議会では、3月25日に指定管理者と都市再生機構との間でセンターの暫定管理に関する契約が締結されたことなどが報告されました。契約の内容は、都市再生機構が暫定管理として、施設の維持管理や貸借業務を行うことを定めており、自主事業の費用は含まれていません。

平成23年第1回 定例会日誌

15日	本会議(議案の審議及び採決並びに陳情等採決、平成23年度施政方針)
16日	本会議(平成23年度施政方針に対する質疑)
17日	本会議(議案の審議及び委員会付託)
21日	本会議(議案の審議及び委員会付託)
22日	本会議(一般質問)
23日	本会議(一般質問)
24日	本会議(一般質問、議案及び議員案の審議並びに採決、市長報告)
28日	本会議(一般質問、議案及び議員案の審議並びに採決、市長報告)
2日	厚生文教委員会
3日	建設環境委員会
4日	総務企画委員会
7日	ごみ処理施設建設等調査特別委員会
8日	駅周辺整備調査特別委員会
9日	庁舎建設等調査特別委員会
10日	行財政改革調査特別委員会
11日	予算特別委員会(震災により中断)
16日	予算特別委員会(一人50分の持ち時間制にて質疑)
17日	予算特別委員会(一人50分の持ち時間制にて質疑)
18日	予算特別委員会(一人50分の持ち時間制にて質疑)
21日	予算特別委員会(一人50分の持ち時間制にて質疑)
22日	本会議(会期の延長)
24日	本会議(議案の審議、会期の延長)
25日	本会議(委員会付託案件の採決、議案及び議員提出議案の採決)
7日	本会議(議案の審議及び採決)



この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。
この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。